

## 解答

一

- ① たてやくしゃ      ② さかて      ③ おかん      ④ 申告      ⑤ 断絶      ⑥ 落成      ⑦ 相乗  
⑧ 細分      ⑨ 軽率      ⑩ 序列

二

問一 映画という体験の生命を失っている（と考えている。）

問二 イ

問三 エ

問四 ア

問五 ウ

問六 エ

問七 A      ウ

問八 ⑦      ア      ウ      ⑧      B      オ      C      イ

三

問一 ①      ア      ⑦      エ

問二 イ

問三 エ

問四 ア

問五 A      生計      B      物心

問六 ウ

問七 ア

問八 エ

## 解説

二

問二

——②の直後に着目します。以前映画は、劇場に行かなければ観ることができなかったものであり、一所懸命スケジュールを調べて、その時間に合わせて出かけたことがわかるので、選択肢イが選べます。

問六

——⑥の前後で、映画に限らず、人生の中の「生の体験」には、ある特定の意味に解釈される前の様々なノイズが入っていて、映画を途中から観てしまい、二度目にストーリーをつなぐような雑な体験の中にこそ、私たちの脳を育む大切な滋養があることを説明しています。ノイズの中から意味を拾うというのが人間の脳の強靱な編集力の本質であることを述べているので、最もふさわしいものは選択肢エになります。

三

問七

後の部分に、小母さんの施した不完全さの説明があります。「例えば、ある木綿の白シャツは背中にポケットがついている。また別の開襟シャツはボタンホールのないボタンが一つあり、女性用のデニムシャツには、小さすぎてかぶれないフードがついている……、というような具合だった。」という記述から、選択肢アが選べます。

問八

——⑧の前からママの気持ちを読み取ります。日曜に停電になることを知ったママは、日が暮れて真っ暗になったときに僕が蠟燭を使うことを心配し、ツアーと一緒に連れていこうとしているので、選択肢エが選べます。